

故郷ふるさとの家に還かへり入りて、即すなはち作つくる歌三首

四五一番

人もなき 空むなしき家は 草枕くさまくら 旅たびにまさりて
苦しかりけり

四五二番

妹いもとして 二人ふたり作りし 我わが山齋しまは 木高こだかく繁しげく
なりにけるかも

四五三番

我わ妹子もこが 植うゑし梅うめの木き 見みるごとに 心こころむせ
つつ 涙なみだし流ながる